

本校は文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画し、試行事業として第三者評価を受審しました。

この事業は、職業実践専門課程のファッション分野における先進的な教育課程を編成する体制構築を目的としており、2年目となる本年度は、職業実践専門課程認定校4校に対して、ファッション分野オリジナルの評価項目に基づいて第三者評価を試行することを主事業と位置づけております。

評価委員は、アパレル企業、アパレル関連団体、大学教授等有識者の協力を仰ぎ、さらにファッション系の専門学校が相互に評価を行う仕組みで選任しました。国により、新たな高等教育機関が検討されている中、職業実践専門課程は、より良い人材育成のために質の向上を図っております。

以上を目的とした委託事業において本校は第三者評価を受審し、別紙総評通りの評価を得ております。

二葉ファッションアカデミー  
校長 吉野たけし

文部科学省委託事業

「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」

## 二葉ファッションアカデミー

### 第三者評価報告書

#### 第三者評価委員

川口輝裕（一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会参事）

櫛下町伸一（文化ファッション大学院大学専任教授）

深田勝久（香蘭ファッションデザイン専門学校副校長）

小林克也（文化服装学院学務課課長）

## I 評価結果

### 【判定】

評価の結果、二葉ファッションアカデミーは、「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証・向上の推進」事業における第三者評価委員会において適切な学校運営が行われていると認定する。

## II 総評

グローバルな視点を持ったファッションスペシャリストの育成という基本理念を達成するため「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の精神をかかげ、これを学内外に周知するよう努めている。基本理念を実現するために全体を通じて学校長統括のもとに、積極的な運営姿勢がみられ、これが二葉ファッションアカデミーの特徴となっている。

吉祥寺駅前という立地条件を活かし、オリジナルブランドショップを運営するなど、職業実践専門課程の「職業人育成」としての目的を見据えた実践的なオリジナリティあるカリキュラムが展開されている。

多摩地区に特化した広報活動を展開。また高校教員との関係に重きを置き、広告に頼らず、広報費を低く抑えている。より目の行き届く少人数制指導を貫く教育は、高校の教員からの信頼を得る事ができ、入学生数に反映されている。年間30回の体験入学はオーダーメイドの体験入学を実施、そして入学後のミスマッチを防ぐようパーソナルな指導に比重を置いている。

高等課程を設置しており、きめ細やかな学生指導や保護者との連携等にそのノウハウが活かされている。また同法人の運営する栄養専門学校との連携により、業務の効率化も図られている。

各評価項目においては、資格取得や卒業生との連携にいくつか課題はみられるものの素材教育や学生支援面で優れていると認められる項目も多く、適切な学校運営であると考えられる。

学生に対する聞き取りにおいても、学校満足度は高く、特に少人数制の運営と、教職員との信頼関係は密接であり、評価に値する。学校選択の理由が体験入学の印象や立地だった点からも、的確な経営方針であることが裏づけられた。

専任教員8名での校務分掌の工夫により、学生満足度の高い運営が行われていることは、二葉ファッションアカデミーの大きな長所と言える。

## 大項目 1 教育理念

### 中項目 1 教育理念

③優れている ②満たしている ①課題あり

教育理念に掲げている「グローバルな視点を持ったファッションスペシャリストの育成」と「涵養の精神と職業人としての自立」が二葉ファッションアカデミーの教育の根幹である。それを実現するために実践していることが以下の3点である。

1. 学校が目指す職業人を育成すべく、より実践的な企業連携。  
2. 「八王子ファッション協議会」との関わりを十分生かした素材教育を産（職人）との連携で行い、リアルな経験は将来の職業観が養われている。

3. 学校品質改善計画（5カ年）は常にPDCAサイクルで見直されるよう整備されている。

また、教育理念を玄関に掲げ、学生への浸透を図っている。言葉として浸透していない点はあるものの、少人数制クラス編成で教育の理念は各学生に周知されていると判断できる。

## 大項目 2 基本項目

### 中項目 1 募集

③優れている ②満たしている ①課題あり

募集要項には定員、学費、出願期間、選考方法などが明記され、ホームページでも同様の情報が公開されている。広報活動は一部学校法人全体で行い、効率的且つ戦略的に行えるよう広報担当者を最小限に抑え、広告媒体への出稿も限定するなど、効率的な募集活動を行っている。

年間 30 回以上におよぶ体験入学は数名の来場というケースが多く、入学希望者にその場で希望を聞き、オーダーメイドの体験学習を実施している。パーソナルな対応を重視し、入学後のミスマッチを防いでおり、学生の満足度につながり、退学者の減少の大きな要因になっていると考えられる。

### 中項目 2 運営

③優れている ②満たしている ①課題あり

学校法人全体の組織構成は全てを正しく運営する整備がされ、年度毎の中長期事業計画も検討されている。また、BSC の考え方を取り入れた目標管理評価制度をもとにした人事規程等も整備されている。

学校長の強いリーダーシップのもと戦略的経営方針を導入し、常に意識できるよう全職員の名札に記載され、また、各個人の行動目標に落とし込まれている。三年前に導入のた

め、定期的に部門責任者のマネジメント能力を養成する研修制度を検討し、成果をあげることを期待したい。

校務分掌により、少数の職員で担当を明確にされているが、入学生の確保は全職員で考え取り組むなど、適切な学校運営が行われている。教員については専門知識のみならず、少人数クラス担任制の利点を生かし、学生を第三者的に見ることのできる教員の資質も重視されている。さらに個人の目標を設定し、評価を行うなど、授業運営も適切に行われている。

情報システム化については必要なシステムだけの導入に留まっているが、学校の規模を斟酌すると適切であると考ええる。

### 中項目 3 財務情報

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

職業実践専門課程の認定要件である、財務諸表（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表）はホームページにより公開されており、認定要件を満たした適切な学校運営が行われている。学校法人（古屋学園）として中長期的な財務の安定化を目指しており、平成 22 年度より翌年度繰越超過を続けている。

基本方針として学校の拡大は考えられていないため、既に行われている、財務、募集、設備等における製菓・栄養分野の系列校との一体運営をすすめ、さらに効率的且つ適切な経営が行われることを期待する。

## 大項目 3 教育活動

### 中項目 1 教育目標・人材育成像

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

身につける能力や養成しようとする職種は職業実践専門課程の基本情報は勿論、入学案内や学校運営計画に明記されている。また 2 年時より専門的な職種を目指した、テクニカル・デザイン、ビューティー・スタイリスト、ビジネス・ショップの 3 コースに分かれることにより、職域に応じた専門的なカリキュラムを履修できる仕組みとなっている。また教育課程編成委員会の他、連携企業である八王子ファッション協議会や全教員の企業訪問などにより業界から育成する人材像のニーズを反映させている。

カリキュラムは基本に重点を置いたオーソドックスな構成であるが、実践的な連携授業や特別講座、後述するオリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の運営や JFW への参画などにより、特色あり、且つ過不足ない内容となっている。

## 中項目 2 活動方針・計画

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

学校長統括のもと、教育理念と育成像は教職員へ明確に伝わっている。各学科の目標はカリキュラム、シラバスにより明確にされ、学生に周知されるよう整備されている。

「八王子ファッション協議会」との関わりを重視し素材教育を産（職人）との連携で行い、より実践的なコラボレーション授業は、二葉ファッションアカデミー独自の連携授業だと判断できる。地域密着型の実践的な授業は専門人材育成には非常に効果的であり、評価できる。またコラボレーション授業を通じて将来の就職につながることを期待したい。

連携授業関係書類については、企業連携協定書等は正しく執り交わされ、職業観を育成する授業時数も実習を中心に 35 時間確保されており有意義な連携であると感じた。

## 中項目 3 教育課程編成委員会

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

教育課程編成委員会は連携企業講師が委員として参画しており、教育課程の改善や授業の工夫について議論され、次年度のカリキュラムに反映されるよう整備されている。すでに今年度 2 回開催し、教育課程編成委員会の実施基準を全て満たしている。来年 3 回目の開催を予定しており、積極的に学外からの提言を受け入れる姿勢がうかがえる。また委員を学内イベントに招待するなど、学生を身近に感じてもらい、提言を行いやすい配慮も行っている。

ファッション業界について大局的な見地からの提言ができる委員が参画することにより、さらに教育課程の改善が図られると期待される。

## 中項目 4 連携授業と連携教育

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

八王子ファッション協議会との連携授業は教育理念の一つである素材教育を重視した内容となっている。協定書、計画書により、企業の意見が反映され、成績評価を行っている。学生に負担なく、また実践的に学べるよう実習時間の確保や終了後学生が自己評価を行っている点も評価できる。

連携授業にあたり、理念、目的の周知やマナー教育は実施されているが、学生の意欲について企業からの指摘があったと報告されている点は課題であるが、学校として改善点を把握され継続的に学生指導を行っている。

学科の目標とする職種での連携教育（希望職種での実習）を望む学生のニーズを反映させているかという点について改善の余地があるものの、地域とのつながりを重視した学校

らしく、地元企業との密接な連携教育が充実している。

#### 中項目 5 目標の設定

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

商品企画、品揃え、販売にいたるまで、ファッションビジネスと専門職業人の育成を意識したオリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の運営は、商品開発能力育成やコミュニケーション能力育成は実践的であり、即戦力育成に効果的である。グローバル人材育成を意識した語学授業の徹底、より実践的な素材教育を重視した連携授業など、学年に応じた教育到達レベルはシラバスに記載され、目標到達のための個別指導が充実しており、自主性涵養という課題はあるものの、手厚い学生支援が教員から明確に行われている。

#### 中項目 6 教育内容・評価等（共通項目）

③優れている 2 満たしている 1 課題あり

デザイン素材理解の向上は連携授業により、またコミュニケーション力と協働力、プレゼンテーション力と企業倫理や法令順守についてはオリジナルブランドショップの運営により取り組んでいると認められる。

オリジナルブランド「ハハ」は商標登録され、JFW（ジャパンファッションウィーク）に参加していることはファッション感覚涵養の機会であると同時に、非常に実践的教育であり、評価できる。

グローバル教育についてはネイティブの英語講師による授業が展開され、作品展示では英語併記のキャプションをつけるなど、ファッション業界で使用する日常英語を重視した講座が導入されている。

以上の点から少人数制教育の特色を生かした多様な教育内容が盛り込まれており、優れていると認められる。

#### 中項目 7 教育内容・評価等（個別項目）設置学科に応じて評価項目を選択する

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

全ての職種に対応するコース編成になっている。単独の科目ではないが、必要とされる教育はカリキュラムに盛り込まれている。特長としては以下の通りである。

（企画デザイン職）

- ・作品・商品イメージを具現化するために必要なスキルを身に付ける授業が充実している。
- ・ファッション造形やパターンメイキングで常に素材を意識した授業展開がなされている。

（技術職）

- ・パターンメイキングの授業では多様なデザインに対応できる力を養い、生産性の効率を重視した授業が行われている。
- ・人間の骨格や筋肉、動作特性を重視したパターンメイキング教育がなされている。  
(縫製職)
- ・デザイン画をより忠実に具現化するための縫製テクニックの修得がなされている。  
(販売職)
- ・「二葉ファッションマルシェ」を通して授業で習得した知識や技術の検証が行われている。
- ・オリジナルブランド運営で企画された商品を通して、製作から納品、検品、販売までの一気通貫の実践教育がなされている。  
(ビジネス総合職)
- ・オリジナルブランド運営に於いて、実践型（体験型）専門人材育成が行われている。  
(スタイリスト職)
- ・設定したテーマをもとに、ヘアメイクから服のコーディネートまでスタイリングされたものを、カメラワークを通してヴィジュアルプロモーションとして発表する機会が工夫されている。

## 中項目 8 特色ある教育

③優れている 2 満たしている 1 課題あり

実践的な学生オリジナルブランド「ハハ」は商標登録され、ブランドを運営することにより、マーケットリサーチ、商品企画、デザイン、製造における知識や技術を習得し、「二葉ファッションマルシェ」での販売、広報までの実践教育を通じて、ファッションビジネスメソッドの根幹の教育が成されている。

オリジナルショップにおいては、グローバルな対応を想定した商品企画や国別の接客アプローチを考えるなど、グローバル教育も意識した取組みが行われ、二葉ファッションアカデミーの理念である「グローバルなスペシャリスト」と「職業人としての自立」を促す仕組みも注目できる。

## 中項目 9 教育設備

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

各実習室で使用されるマシン、ボディは原価償却時期を設定し、時期が来ると希望者へ譲渡するなど、常に新しい環境づくりをする整備を行っている。CAD・CG は実現場で使用されている機種が取り揃えられている。スタイリング関連備品やメイク関連設備等も充実しており、且つ有効に利用されている。「二葉ファッションマルシェ」は実店舗であるため、同等の設備が完備されている。(店舗に学生が常駐ではないが、定期的に時期を定め、学生



が運営にあたっている。それ以外は職員の対応により、毎日開店している)

学生数や学校の規模の関係から、図書設備等に課題はみられるものの、カリキュラム遂行上必要な設備は整備され、染色等については連携授業として企業の設備を活用するなど工夫されている。

## 大項目 4 学習成果

### 中項目 1 就職・就職率

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

企業訪問により継続した求人を得るよう努力しており、それをキャリアガイダンスに反映させており、130 社 620 名の求人があり、就職先は充実している。各学科の担任と就職課の連携により、個別指導を行うなど内定率の向上に努めている。

就職実績は販売職が主体であり、科の目的に沿った企業、職種への就職についてはやや課題があると言える。実情としてアパレル産業構造の変化や、学生の職業意識や能力が企業側の求める人物像と乖離するといった社会背景が影響していると考えられる。

求人サイトを利用した就職活動が普及し、全ての学校が同じ情報を得られるようになってきたが、更なる工夫に期待したい。

### 中項目 2 資格・資格取得率

3 優れている 2 満たしている ①課題あり

各学科・コースの目指す資格が定められており、積極的な取得が推奨されている。運営計画では合格率 80%を目標に掲げ、パターンメイキング検定、洋裁技術検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、メイクアップ技術検定の 5 つを取り組むべき検定と位置付けている。受験者のいる検定試験については補講制度があり、総じて目標を達成している。

検定受験は学生の自主性を重視しており年々減少傾向である。今後は国家資格のなりファッション業界において客観的な能力をはかる検定試験の意義は大きく、学習の習得レベルの確認をはじめ、資格取得の意義を説き受験を喚起する対策が必要と考える。

### 中項目 3 成績評価・単位認定等

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

教務規程により明確に定められている。また教員間で意見交換を行い、感性についての評価基準の公正化に努めている。

各教科の特性により試験、作品評価、出席、学習態度等の評価比重は一律ではないが、

シラバス等で評価基準を提示することを検討している。

基準の制定については課題であるが、退学者を出さず、学校運営が行われていることに注目したい。

#### 中項目 4 学習成果

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

学生アンケートを実施し、学校生活全般についてのアンケートを行っている。結果は全ての教員で共有され、広報、教務、就職と幅広い範囲で活用されている。

全体として満足度は高く、実地調査における学生からの聞き取りにより、教員のパーソナル且つ丁寧な対応のもと、意欲を持って学習に取り組んでいることが評価できる。

近年退学者がいなかったことから無理なく単位を取得できる環境が整っていると見え、フォロー体制は万全であるが、競争や発展的学習を期待する学生への対応を充実化することが、今後の学習成果向上につながると期待される。

#### 中項目 5 卒業生社会的評価

3 優れている 2 満たしている ①課題あり

若年者の早期離職は社会問題とも指摘されるが、二葉ファッションアカデミーにおいても3年以内に約半数の学生が離職していることが課題と言える。また同窓会は組織されておらず、80年の伝統ある学校として課題である。

卒業生の社会的評価は企業訪問等を通じ把握されているが、ヒアリングが主体であり、体系的な情報収集が望まれる。また就活サイトや自己開拓による就職先での評価把握に努めることでより客観的な卒業生評価を把握できると考える。

卒業生の就職相談、対応は来校する学生に直接行なわれている。

#### 大項目 5 教員の質の保証

##### 中項目 1 教員・教員組織

③優れている 2 満たしている 1 課題あり

専任8名、非常勤5名により運営され、校務分掌により組織化されている。専任教員はパターン、縫製、ビジネス、色彩など複数科目を担当し、幅広い知見と指導力を身につけていると認められる。英語授業においてはネイティブの非常勤講師を採用するなど、科目の目的に沿った人材確保も適切に行われている。

各科、授業科目間の連携については、単科（専攻科等をのぞく）による運営、且つ担任制を採用しており教務会議が定期的開催され、横串での確認は取れている。

## 中項目 2 教員評価

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

学校満足度調査を行い、評価の把握に努めている。教科別アンケートや意見箱の設置を次年度から実施予定であり、今後の成果を期待したい。理解し易い授業であったか、学生の相談にしっかり対応できたか、という点については、学生からの聞き取りにより、「何でも言える環境」であり、適切であると考えられる。

学生満足度調査の統計も「先輩・後輩・友人関係」「教職員」「行事・イベント」について高い値を確保しており、円滑な学生生活が行われ、中途退学者がほとんどいないという実績につながっていると考えられる。

## 中項目 3 教員研修

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

専任教員について、教員研修規程により夏期に 5 日間の研修を義務付けている。自らの専門分野の研修先を設定し、研修で得た知識や技能は他の教員との情報共有を行い、授業等を通じて学生へフィードバックさせる仕組みとなっている。また研修成果については教員研究発表会によりその成果を報告し、全教員で研修内容の実績を共有することができるようになっている。

研修先や自己研鑽課題を上司との面談により、明確化することが今後の課題と考えられるが、上記の実績より認定要件を満たし、適切な運営が行われていると認められる。

## 大項目 6 学生支援

### 中項目 1 就職

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

各科担任と就職課の連携に加え、個別相談や専任教員によるキャリアガイダンス講座を実施しており、就職スキルの向上を図りつつ活動を促していると言える。年間 40 社の企業訪問による求人開拓と 130 社 620 名の求人等により、求人確保、指導については適切である。しかし、就職実績は販売職が主体であり、科の目的に沿った企業、職種への就職についてはやや課題があると言える。実情としてアパレル産業構造の変化や、企業が求める人材像、学校が育てたい人材像、学生がイメージする社会人像が、それぞれが異なっている現状が影響していると考えられる。

求人サイトにより企業情報を得ることができるようになったが、独自の就職資料の整備や、専門職への就職実績を充実されることが今後の課題であると考えられる。

## 中項目 2 中途退学への対応

③優れている 2 満たしている 1 課題あり

昨年度は中途退学者が 0 名であり、担任制によるパーソナルな学生指導が退学者低減に大きな効果を挙げていると考えられる。退学理由の変化に対応し新しい事象を予測しながら指導を行っているが、よりきめ細やかな指導の必要とされる高等課程運営のノウハウが活かされていると考えられる。

近年経済問題による退学相談が増加していると報告されているが、退学者のいない点から適切に対応していると考えられる。

## 中項目 3 学生相談

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

担任による学生相談により昨年度退学 0 名を実現している。専任カウンセラーが学園として（同学校法人の栄養、製菓系学校を含め）配置されている。また週 1 回学生・生徒相談室を開設、若手教員の対応により話しやすい環境を作っている。

専門的な相談についても校務分掌により担当教員が明確であり、スムーズに担当教員に引き継ぐことができる体制であると言える。

## 中項目 4 学生生活

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

独自の奨学金制度は無いが、無利息での延納、分納に対応し支援している。

日本学生支援機構や提携ローンの情報も募集要項や HP で情報提供を行っている。

学校設置基準に沿った健康診断が行われ、学生のニーズに合わせたワンルームタイプの寮を整備するなど適切な運営が行われている。二葉ファッションアカデミーでは多摩地区における募集活動を重視し、積極的な留学生募集をおこなっていない。また課外活動の希望が見られないことから、現状としては支援体制を整えていない状況である。

上記のことから更なる学生支援体制に期待するものである。

## 中項目 5 保護者との連携

③優れている 2 満たしている 1 課題あり

学校行事等については書面による案内を出し、できる限りの参加をお願いしている。また学習態度の変化があれば、すぐに保護者と連絡をとり、状況把握と改善に取り組んでおり、適切であると考えられる。

## 中項目 6 卒業生・社会人

3 優れている 2 満たしている ①課題あり

同窓会組織が未整備である。卒業後 3 年以内の離職者が 50 パーセントを超える状況から卒業生に対するキャリアコンサルティング等の場を設定するなど、定着率の向上が期待される。

就職先のみスマッチに悩み来校した卒業生の支援や学校施設利用など、いくつかの事例が見られるものの、相談および再就職支援の制度化が期待される。

業界の活性化を目的とした団体「東京・多摩ファッションネットワーク」を運営し、卒業生に情報提供を行っているが、今後の発展に期待したい。

## 大項目 7 教育環境

### 中項目 1 防災・安全管理

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

防災組織が整備され、自衛消防訓練も実施している。地域で行う消防訓練にも積極的に参加し、適切であると考えられる。

校舎は新耐震基準施行以降に新築されたもので安全性は高い。

東京都においては義務付けられている水、食糧等も備蓄され、管理方法も問題ない。地下室での保管を不安視しているものの、現段階では当所の保管が適切な方法である。

通常授業等における怪我等に備えて、栄養、製菓系学校を含めた学校法人として近隣の開業医を校医とし、万全の態勢をとっている。

## 大項目 8 内部質保証

### 中項目 1 関係法令

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

専門学校設置基準や関係法令を守り学校運営が行われている。職業実践専門課程認定要件である学校関係者評価が行われ、その評価の内容も問題が見当たらない。

### 中項目 2 個人情報

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

学生の個人情報については規程を整備の上、漏洩の無いように厳重に管理を行っている。「二葉ファッションマルシェ」で取得された顧客情報は年度末にデータ消去を行うことにより個人情報保護を徹底している。学生間における SNS 等を利用したコミュニケーションにおける情報の漏洩は危惧されており、日ごろよりモラル指導を行い、意識向上に取り組

んでいる。ラインをはじめとする様々な通信アプリが氾濫している現状について、学校としてどこまで関わるができるか苦慮している現状が窺える。

上記より学校の持つ個人情報適切に管理されており問題は無い。

### 中項目 3 学校評価

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

自己点検・評価および学校関係者評価が実施され、その結果はいずれも HP に公開されている。学校関係者評価委員は職業実践専門課程の連携企業より委員が参画しており、二葉ファッションアカデミーの現状を理解した委員による評価という点で信頼できるものである。自己点検評価と学校関係者評価の乖離も少なく、職員が自校の現状を客観的にとらえていると推測できる。

学校品質向上計画を策定、実行し、自己点検によって抽出された課題への対応がみられることから PDCA サイクルが機能していると考えられる。

### 中項目 4 情報公開

3 優れている ②満たしている 1 課題あり

前項目で記載した通り、HP により情報が公開され、二葉ファッションアカデミーのトップ画面からスムーズに遷移することができる。職業実践専門課程の基本情報、財務諸表の公開も同様であり、適切であると言える。

広報の視点で見ると、学科編成やオジルナルショップ情報など受験層へ訴求すべき情報が整理され、更新頻度も高い。シンプルながら必要な情報が網羅され、適切な情報公開であると言える。